

## 第2次呉市上下水道局職員体制再構築計画（案）について

### 1 計画策定の趣旨

平成25年度に「呉市上下水道局職員体制再構築計画」（計画期間 平成25年度から平成30年度当初まで。以下「1次計画」といいます。）を策定し、①人材育成 ②民間活力の導入の推進 ③定員適正化の三つの基本方針により、経営の効率化に取り組んできました。

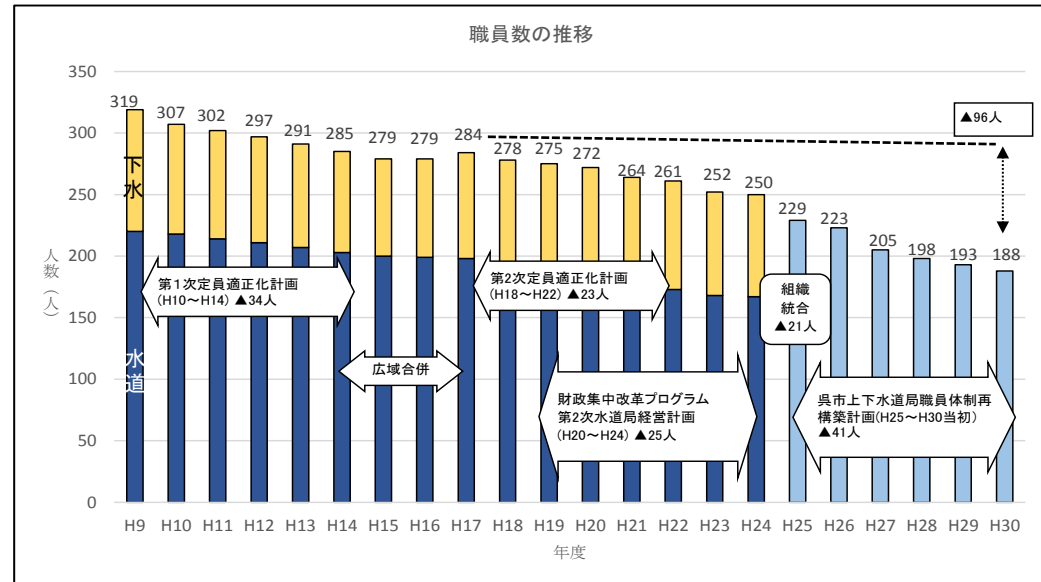
これまで、業務執行方法の改善、アウトソーシングの推進を進めることで、一定の成果を挙げることができました。

今後も、公営企業としてライフラインを守り、質の高いサービスを提供するに当たり、引き続き効率的な職員体制を構築するため、新たな計画を策定するものです。

### 2 これまでの定員適正化の取組

平成10年度に「第1次定員適正化計画」を策定し、継続して定員適正化に向けた取組を進めています。広域合併で一時的に増加した時期もありましたが、平成30年度職員数見込みは、広域合併前の約3分の2の水準となっています。

<図表1>

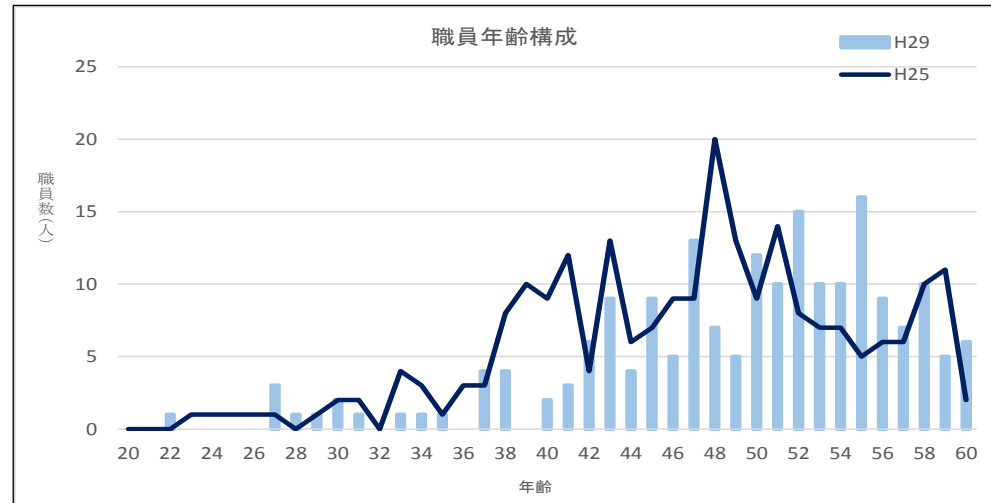


### 3 現状分析

#### (1) 年代別職員数

1次計画の計画期間中に職員（技師）を5人採用したこと等により、20歳代の職員は維持できていますが、40歳未満の職員が少ない状況が続いています。

<図表2>



#### (2) 今後の退職者数

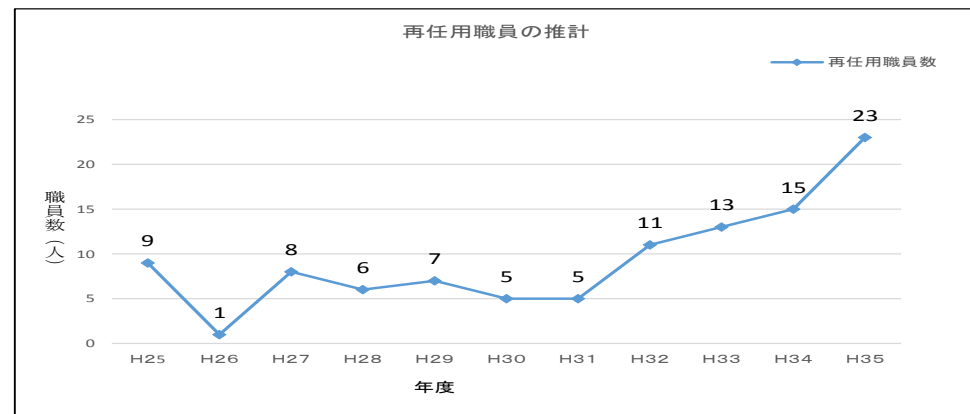
平成30年度から平成34年度までの5年間で、45人の退職者が見込まれます。今後、大量の定年退職者の発生と雇用期間の延長を受け、再任用職員は増加すると見込まれます。

<図表3 退職者数（見込み）>

(単位: 人)

	H30年度末	H31年度末	H32年度末	H33年度末	H34年度末
退職者数	5	10	7	9	14
累計		15	22	31	45

<図表4>



#### 4 計画の基本方針

上下水道事業の有収水量の減少が続く中，独立採算制を原則とする地方公営企業としてライフラインを守っていくためには，現在の基本方針を継続して，職員体制の構築に取り組む必要があります。

人材育成

民間活力導入の推進

定員適正化

#### 5 2次計画の目標設定

##### (1) 計画期間

平成30年度から平成35年度まで

##### (2) 数値目標

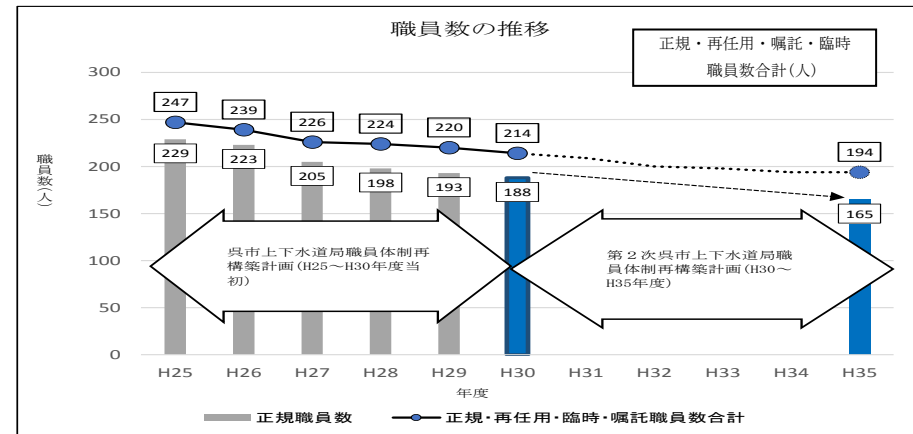
平成35年度当初の職員数を165人とします。  
(再任用職員を含まない。)

H30年度 当初職員数 (見込み)	目標値		
	H35年度 当初職員数	増減数	増減率
188人	165人	▲ 23人	▲12.2%

##### (3) 職員採用の考え方

平成30年度から平成34年度の5年間における退職者約50人に対し，26人程度の職員採用を行う予定です。

<図表5>



<図表6 職種別採用計画>

(単位：人)

職種区分	H31年度 当初	H32年度 当初	H33年度 当初	H34年度 当初	H35年度 当初	合計
土木	2	2	2	3	3	12
電気	1	1	1	1	1	5
機械		1	1	1	1	4
化学(衛生)			1		1	2
事務職			1	1	1	3
合計	3	4	6	6	7	26

## 6 計画推進のための具体的方策

計画の基本方針に掲げる民間活力の導入の推進に基づいて、宮原浄水場等において、指定管理者制度の導入について検討を行います。これにより、職員11人程度の減員効果があると見込んでいます。

また、業務の執行方法の見直し等により、12人程度の減員効果があると見込んでいます。

各手法については、減員数をベースに柔軟に対応していきます。

<図表7 手法別内訳>

	手法	減員数
1	民間活力導入の推進	約 11人
2	業務執行方法の改善等	約 9人
3	再任用職員等の活用	約 3人
	合計	約 23人